

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム まごころ作成日: 平成 31 年 1 月 14 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は地域代表の協力を得て、情報交換はできているが、ホームからの報告が中心となっているため、会議の内容や議題を検討し、ホーム運営や業務改善に繋がる運営推進会議を目指していく。	参加委員として、地域で活動している有識者や知見者(薬剤師、市民センター館長、交番の警察官、他グループホーム管理者等)に声を掛け、ホームや地域の課題について話し合ったり、勉強会を実施する等、内容の充実に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	管理者とベテラン職員が中心となり、質の高い介護サービスが提供出来ているが、今後も継続してグループホームを発展させるために、中堅職員の育成と、新人職員の介護技術の向上に取り組み、全体のレベルアップに繋げていく。	職員の経験や習熟度に合わせて、外部研修に交代で参加して、介護技術の向上や知識の習得を目指し、職員一人ひとりが意欲的に働けるグループホームを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。